

製品名: UBE2D3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86872**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:17 kDa; Observed MW:17 kDa

抗原情報

遺伝子名	UBE2D3
別名	UBC4/5; UBCH5C; E2(17)KB3
遺伝子ID	7323
SwissProt ID	P61077
免疫原	ヒト UBE2D3 の合成ペプチド

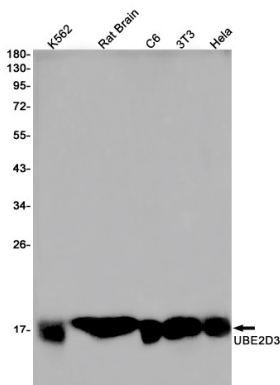
背景

ユビキチンによるタンパク質の修飾は、異常なタンパク質や短寿命タンパク質を分解対象とする重要な細胞機構です。ユビキチン化

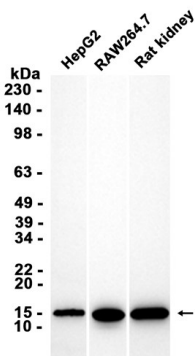
には、少なくとも3種類の酵素が関与します。ユビキチン活性化酵素 (E1)、ユビキチン結合酵素 (E2)、そしてユビキチンタンパク質リガーゼ (E3) です。この遺伝子は、E2ユビキチン結合酵素ファミリーに属する酵素をコードしています。この酵素は、E3ユビキチンタンパク質リガーゼによって誘導される腫瘍抑制タンパク質 p53 のユビキチン化に作用します。[RefSeq 提供、2017年1月]

研究分野

画像データ



UBE2D3 抗体 (1:1000 希釈) を使用した K562、ラット脳、C6、3T3、HeLa 細胞溶解物中の UBE2D3 のウエスタンブロット検出。



AMRe86872 を 1:3000 で使用して、HepG2、RAW264.7 細胞およびラット腎臓組織からの抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。